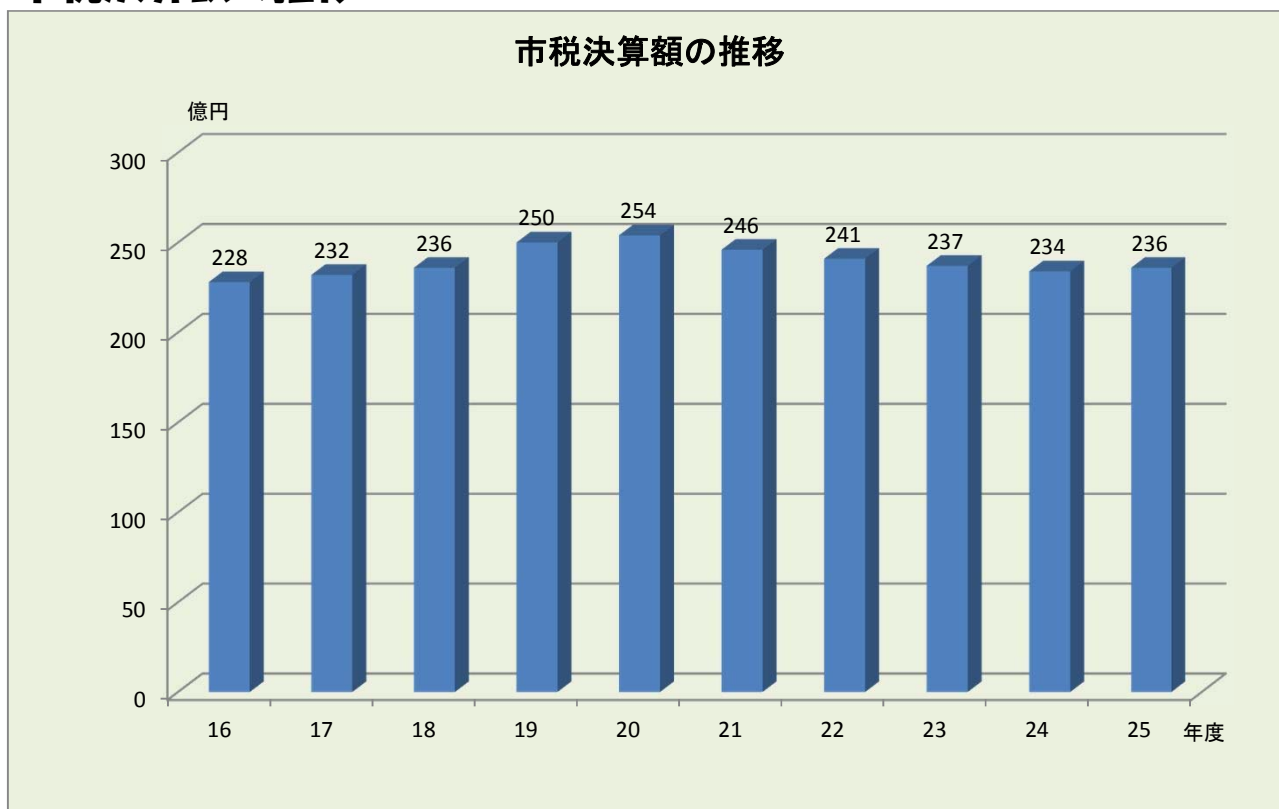


市税決算額の推移



佐倉市の市税は、平成20年度をピークに、ゆるやかに減少傾向にあります。しかしながら、昨年度決算額は、前年度比2億円の増となりました。

主な要因としては、景気回復の鈍化により個人市民税の減収はあったものの、新增築家屋数の増加による固定資産税等の増収、税制改正による市たばこ税の増収などが挙げられます。

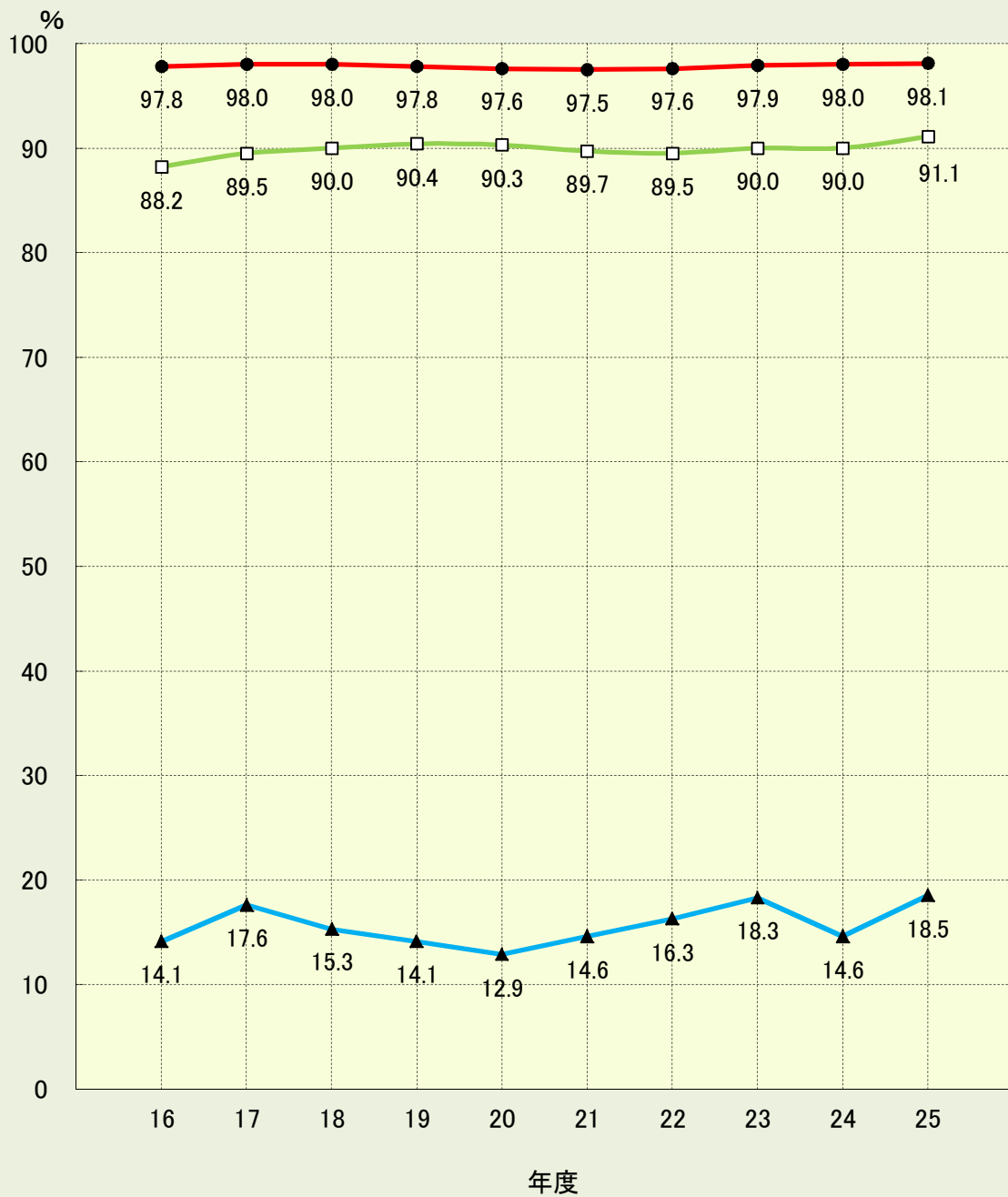
平成27年度 市税の要求状況

(単位:千円)

区分	平成26年度			平成27年度(要求)			予算額の増減	
	調定額	予算額	収入率	調定額	予算額	収入率		
市民税	個人	12,037,633	10,971,962	91.15%	11,975,246	10,933,689	91.30%	△ 38,273
	法人	1,398,442	1,368,838	97.88%	1,147,247	1,122,552	97.85%	△ 246,286
	計	13,436,075	12,340,800	91.85%	13,122,493	12,056,241	91.87%	△ 284,559
固定資産税	9,732,564	8,553,216	87.88%	9,549,402	8,393,053	87.89%	△ 160,163	
軽自動車税	204,230	174,586	85.48%	225,008	193,704	86.09%	19,118	
市たばこ税	990,048	990,048	100.00%	980,192	980,192	100.00%	△ 9,856	
都市計画税	1,794,912	1,573,065	87.64%	1,754,935	1,545,548	88.07%	△ 27,517	
計	26,157,829	23,631,715	90.34%	25,632,030	23,168,738	90.39%	△ 462,977	

平成27年度当初予算要求額は、昨年度比で約4億6千万円の減額となっています。主な要因としては、税制改正に伴う法人市民税の税率改正によるものと固定資産税等の評価替えに伴う減価によるものなどが挙げられます。

収入率の推移



徴収事務にあたっては、事務の分担を現年分と過年分に分割し、現年分は、文書・電話・臨戸による催告を積極的に実施することで滞納の新規発生を防止し、過年分については、滞納者の財産調査と差押や公売などの滞納処分を積極的に実施することにより、収入率の向上に努めました。